

第121回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成22年10月22日(金) 13:30～16:30

場所：JR東海 品川ビルA棟

出席者：委員長 脇若（信州大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 伊藤（日立製作所），岩松（鉄道総研），岡本（東海大），鹿山（安川電機）

中川（東京都市大），増澤（茨城大），森下（東芝），矢野（産総研），渡邊（IEEJ）

幹事 村井（JR東海），水野（信州大）

幹事補佐 鳥居（東京都市大），矢島（SMC）（記）

提出資料

- 121-1 第120回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（村井幹事）
- 121-2 第100回（H22年度第3回）産業応用部門研究調査運営委員会 議題（脇若委員長）
- 121-3 長期ビジョンロードマップ 産業応用からの提案（脇若委員長）
- 121-4 産業応用部門の取扱う分野（脇若委員長）
- 121-5 平成22年度 リニアドライブ技術委員会 活動報告
- 121-6 リニアドライブ研究会 発表論文募集（渡邊委員）
- 121-7 電気学会 研究会資料【年間予約】のすすめ（脇若委員長）
- 121-8 電気工学ハンドブック 第7版 出版準備（脇若委員長）
- 121-9 委員会構成員変更届（中川氏）（脇若委員長）
- 121-10 平成23年度（H23年4月～H24年3月）研究会の開催予定（1次案）（脇若委員長）
- 121-11 平成23年電気学会全国大会シンポジウム提案（脇若委員長）
- 121-12 平成23年電気学会全国大会シンポジウム（案）提案用紙（脇若委員長）
- 121-13 LDIA2011（脇若委員長）
- 121-14 LDIA2011 - IEEJ（脇若委員長）
- 121-15 LDIA 管理委員会（2006-）会計 口座・現金の収支状況一覧（鳥居幹事補佐）
- 121-16 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告（岡本委員）
- 121-17 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会（MLV）活動報告（森下委員）
- 121-18 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 121-19 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会（MEL）活動報告（渡邊委員）
- 121-20 第5回 医用アクチュエーション周辺技術の高度化に関する協同研究委員会 議事録（岡本委員）
- 121-21 第11回 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会 議事録（森下委員）
- 121-22 第12回 環境調和型磁気支持応用技術調査専門委員会 議事録（森下委員）
- 121-23 第8回 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）
- 121-24 第9回 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）
- 121-25 第3回 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会 議事録（渡邊委員）

議事

1. 議事録確認

資料121-1を用いて議事録の確認が行われた。以下の1点を修正することで承認された。

- (1) 表題の「第200回」を「第120回」に誤字修正

2. 委員交代

小豆澤委員から中川委員に交代があり（資料121-9），中川委員から挨拶があった。

3. 報告事項

3.1 資料121-2を基に，脇若委員長から10月4日に開催された第100回（H22年度第3回）産業応用部門研究調査運営委員会の内容に関して特に以下の報告があった。

- (1) ロードマップ策定ワーキングの設置・・・資料121-3についてコメントがあれば脇若委員長まで
- (2) 論文委員会の構成と技術委員の構成・・・再編成が提案されている
- (3) 産業応用フォーラム関係・・・フォーラム後の懇親会で関係者以外の方も参加できるようにし，決算報告書を電気学会に提出する

- 3.2 資料 121-5 を基に、脇若委員長から平成 22 年度 LD 技術委員会の活動報告について説明があった。
- ・ 8 月に予定されていた産総研の見学会は延期し、研究会と一っしょに見学会を開催する
 - ・ 10 月に予定されていた東芝のエレベータ棟見学は、技術委員会と同日として次回 (12/10) もしくは次々回 (2 月 4 日) に行う
- 3.3 資料 121-6 を基に、渡邊委員から 2 月 16 日・17 日に浜松で開催されるリニアドライブ研究会の案内があった。ここで、MEL 委の中間報告を行うと説明された。
- 3.4 資料 121-7 を基に、脇若委員長から研究会資料の予約数・論文件数について説明された。

4. 審議事項

- 4.1 資料 121-8 を基に、脇若委員長から電気工学ハンドブック第 7 版を平成 25 年に出版予定であることが説明された。脇若委員長が目次案・執筆者案を作成し、メール審議を行う。前回の第 6 版に比べ、目次に医用アクチュエーションや磁気浮上鉄道を加えたほうが良いと意見があった。
- 4.2 資料 121-10 を基に、脇若委員長から次年度の研究会の開催予定について説明があり、以下のように確認された。担当者は 11 月 20 日までに脇若委員長に予定を連絡する。
- ・ 7 月：TER 研究会と共催、東北で行う、担当は北野副委員長
 - ・ 8 月：RM 研究会と共催、担当は MEL 委
 - ・ 10 月：担当は MDD 委
 - ・ 11 月：10 月に変更の可能性あり、担当は ECD 委
 - ・ 12 月：SPC/MD 研究会と共催、担当は MD 研究会
- 4.3 資料 121-10 を基に、脇若委員長から次年度の見学会について説明があり、以下のように確認された。
- ・ 8 月に安川電機 東京工場の見学会を検討する
 - ・ 5 月もしくは 6 月に鉄道総研・東京都市大を検討する
- 4.4 前期 MEL 委員会の技術報告書を基に、産業応用フォーラムを今年度開催することが確認された。日本能率協会から共催したい旨の連絡がきている。鳥居前委員長がフォーラムの計画を脇若委員長に送り、委員長から運営委員会に共催可否を確認する。
- 4.5 資料 121-11, 121-12 を基に、脇若委員長から平成 23 年電気学会全国大会シンポジウム (大阪) 提案について説明があった。LD 技術委員会から「リニアドライブ技術のこれまでとこれから」および ECD 委員会から「電気工学と人工臓器—命をつなぐ電磁応用技術—」の 2 件を提案。D 部門 6 件の枠に 7 件の提案になったので、今回発表できなければ、次の産業応用部門 (沖縄) で発表する。
- 4.6 資料 121-13～121-15 を基に脇若委員長から、LDIA2011 (オランダ) 事務局から IEEJ 及び LDIA 事務局の補助について問い合わせが来ていることが説明され、討議された。論文掲載料・交通費などについて、IEEJ の規定に沿った形で補助を行うことが確認された。

5. 各調査専門委員会活動報告

資料 121-16～121-25 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

以上